

富士山文化の宝箱

富士御室浅間神社

富士御室浅間神社は、吉田口登山道の二合目に位置しています。修験者たちはこの地域を拠点としており、この神社は富士山中に建立された最初の神社でした。

この神社と河口湖畔の勝山に立つ別の御室浅間神社は、代々神職を務める小佐野家によって管理されていました。この二社はそれぞれ本宮と里宮と呼ばれていました。

本宮は 17 世紀初期にこの地の領主、鳥居成次（1570-1631）によって再建されました。この建物は保存のために 1974 年に里宮の境内に移築されました。現在、富士御室浅間神社は重要文化財に指定されています。